

実施日：2月29日・3月4日	
領域：(①教科 ())、(②道 徳 (特別の教科 道徳))、(③特別活動)、(④総合的な学習の時間)	
取組名：全国水平社に学ぶ	
対 象：2年生	実施場所：2年生各教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水平社宣言と歴史について学び、差別がある事の悲しさ、残酷さについて理解する。 ・ 人の価値の違いはなく、みな平等に「生きている事」がすばらしい事を感じさせる。 ・ これから出会うかもしれない差別に立ち向かう意志を表明する。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の道徳にて、「君、想像したことある？」を扱い、いじめの残酷さについて考えさせる。生徒にとって1番身近な人権課題としていじめについて考え、人権課題に対して見て見ぬふりをしないこと、許さない姿勢を涵養する。 ・ 「君、想像したことある？」の感想を紹介することからはじめ、人権課題と立ち向かった全国水平社について歴史や人々の思いを中心に学習させる。差別の起こりをはじめ多面的に考えさせ、差別を許さない強い決意を表明させたい。 	
ウ 連携先：人権教育推進教員	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育推進教員が中心となって、事前の学習を念入りに行う。各クラスで学びの差が生まれないうよう、さらには配慮が必要な生徒への対応等最大限の注意を払って事前の準備を進める。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめをはじめとする人権課題が身近なところにあることを理解でき、しっかりと向き合おうとする姿勢を評価とする。 ・ 発表や感想等生徒が発するメッセージに敏感に反応し、対応すべき事案があれば早急に対応する準備を学年として整えておく。 ・ 学習の様子を通信等をで保護者や地域に発信していきたい。子どもたちの力でまとめ発信することをめざしたい。 	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふり返りシート 	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめをしてはいけないというだけではなく、いじめが起こらない環境づくりのために自分ができることを真剣に考える生徒が増えた。 ・ 全国水平社を立ち上げた人々の思いに共感し、学級環境を見直すなど身近なことから人権課題の解決に向かう意思表示がみられた。 ・ 学年が上がるにつれて、自分事としてとらえ、人権課題に向き合う決意が多くみられるようになった。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒自身が人権感覚を身につけたとしても、社会が変化しなければ社会に出た時の生徒の立ち位置は難しいままである。教育の成果として地域・家庭に発信し社会全体として人権感覚を涵養していくことが課題である。 ・ 担当する教員がまず人権感覚を研ぎ澄ます必要がある。そのためには定期的な人権学習を開催するなど、毅然とした態度で授業を展開し生徒を導いていきたい。 	